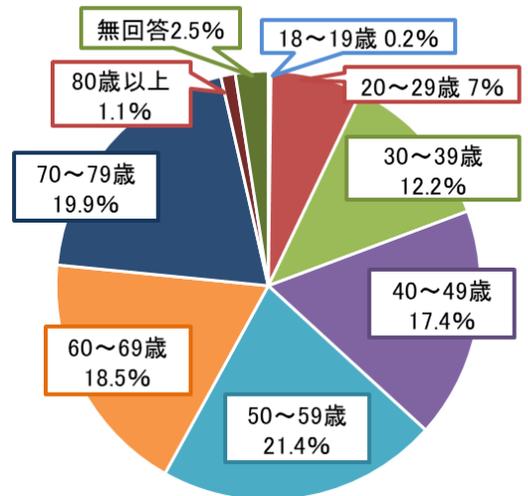


第17回市民意識調査結果の概要について

【調査の概要】

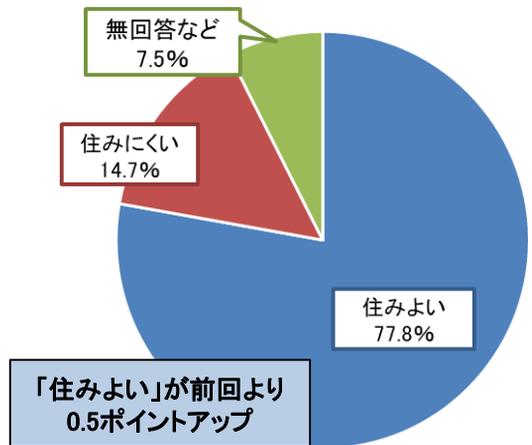
- 対象者
市内在住で満18歳以上の男女3,000人
(層化無作為抽出)
- 調査方法
アンケート調査票を郵送で配布・回収
- 調査期間
令和6年8月2日～8月21日 (20日間)
- 回収結果
配布数:3,000票 回収数:1,221票 回収率:40.7%
- 回答者の性別
男性37.7% 女性59.4% その他0.6% 無回答2.4%

●回答者の年齢構成



【住みごち】

	第17回 (R6年)	第16回 (R3年)	第15回 (H30年)
住みよい	77.8%	77.3%	74.0%
住みにくい	14.7%	14.8%	16.3%
無回答など	7.5%	7.8%	9.7%

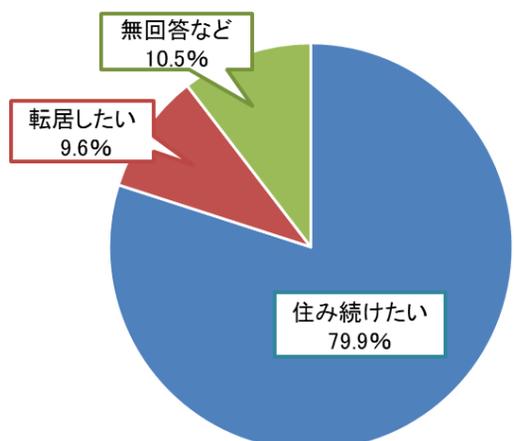


- 住みよい: 第12回(H21)から連続して増加
- 住みにくい: 第12回(H21)から連続して減少

住みよい	やや住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答など
35.1%	42.8%	13.3%	1.3%	7.5%
77.8%		14.7%		7.5%

【定住意識】

	第17回 (R6年)	第16回 (R3年)	第15回 (H30年)
住み続けたい	79.9%	80.5%	77.4%
転居したい	9.6%	9.6%	10.9%
無回答など	10.5%	9.9%	11.7%



- 住み続けたい: 第12回(H21)から第16回(R3)まで連続して増加していたが、今回は減少(-0.6%)
- 転居したい: 第12回(H21)から第16回(R3)まで連続して減少していたが、今回は横ばい。

ずっと住み続けたい	当分の間は住み続けたい	いずれ転居したい	転居したい	無回答など
36.9%	43.1%	8.4%	1.2%	10.5%
79.9%		9.6%		10.5%

※上記の割合数値は、少数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合等があります。

第17回市民意識調査結果の概要について

【基本計画において成果指標や数値目標などを設定している施策等】

上記の成果指標(施策の満足度)等について調査しました。(24項目)

	成果指標等	今回 (R6 年度)	前回 (R3 年度)	目標 (R7 年度)
1	子育て支援環境の充実に対する満足度 (小学校入学前の子どもがいる方で抽出)	62.8%	67.2%	64.1%
2	子育て支援環境の充実に対する満足度 (中学生までの子どもがいる方で抽出)	69.4%	71.4%	66.8%
3	保育サービスなどの充実に対する満足度 (中学生までの子どもがいる方で抽出)	57.7%	61.0%	57.9%
4	市の福祉施策(福祉のまちづくり)に関する満足度	57.6%	58.5%	70.0%
5	地域活動に参加したことがある人の割合	52.3%	53.6%	61.0%
6	地域活動に参加したことがない人の割合	47.3%	44.8%	38.5%
7	「市民文化の創造」に対する満足度	61.6%	58.8%	56.2%
8	「富士見市で魅力ある資源」としての、「歴史・史跡等」の回答割合	8.6%	7.4%	25.0%
9	「富士見市で魅力ある資源」としての「郷土芸能」の回答割合	0.6%	0.8%	2.0%
10	学習活動支援に対する満足度	46.7%	46.8%	50.0%
11	コミュニティ活動の推進に対する満足度	54.7%	53.8%	53.0%
12	現在の住みごころ(「住みよい」の割合)	77.8%	77.3%	83.1%
13	「住みよい」理由の「まちに愛着がある」の割合	20.2%	22.8%	30.0%
14	「住み続けたい」の割合	79.9%	80.5%	83.1%
15	市民参加・協働の推進に対する満足度	46.9%	43.9%	56.0%
16	「市民相談の充実」に対する満足度	56.2%	57.8%	52.0%
17	道路整備に対する満足度	54.2%	50.4%	50.0%
18	移動に不便を感じている人の割合	18.3%	16.9%	25.0% 以下
19	放置自転車・違法駐車対策の推進の満足度	74.5%	70.7%	65.0%
20	公園の整備・緑化の推進に対する満足度	69.6%	67.7%	66.0%
21	“住みやすさ”の市民満足度(誰もが住みやすいまちづくり)	55.8%	55.8%	55.0%
22	地域防災力の向上に対する満足度	56.8%	55.9%	70.0%
23	行政運営に対する満足度	53.3%	52.6%	75.0%
24	職員の対応や印象等に対する肯定的評価の割合	70.3%	71.4%	75.0%

※今回調査の結果(割合)の数値の表示について

- ・「赤字」は前回より増加(肯定的な回答が増加)
- ・「青字」は前回より減少(肯定的な回答が減少)

第17回市民意識調査結果の概要について

【特に力を入れるべきだと思う施策】 基本計画の30分野の中から、特に力を入れるべきだと思うものを調査しました。(赤字は前回より増加、青字は前回より減少。)

	基本計画の分野	主な取組の内容	回答者数に対する 選択した人の割合	
			今回 (R6年度)	前回 (R3年度)
1	高齢者福祉	・介護予防など健康長寿のための取組 ・医療・介護・地域・福祉の連携したサービスの実現	31.0%	34.1%
2	防犯・交通安全	・地域の防犯活動支援、防犯環境の整備 ・歩行者、自転車、自動車等の安全利用の推進	26.7%	28.0%
3	子ども・子育て支援	・乳幼児の発育支援、子どもを育てる環境づくり ・子育て家庭への経済的支援	23.4%	19.2%
4	道路	・市民生活の安全安心の確保に向けた幹線道路等の整備 ・地域の利便性や安全性を向上させる生活道路の整備	18.3%	21.8%
5	危機管理	・自助・共助・公助による災害対応体制の推進 ・あらゆる危機の予防と被害抑制	18.1%	16.6%
6	学校教育	・確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 ・教職員の資質向上や学校施設・設備の整備	17.2%	16.4%
7	公共交通	・市内循環バスなど地域公共交通網の充実 ・放置自転車・違法駐車対策など駅周辺の安全性向上	15.9%	17.1%
8	子ども・若者支援	・子どもの居場所づくりのための活動に関する支援 ・若者の学び直し相談やネットワークづくり	14.3%	12.7%
9	商工	・買物利便性の向上、商店街・個店の活性化、創業支援 ・良好なモノづくりの環境整備、新たな工業基盤の強化	12.6%	11.9%
10	健康づくり	・健康的な食生活、運動習慣の推進 ・こころの健康、歯と口の健康づくり	8.1%	8.1%
11	地域福祉	・相談・支援の充実による自立に向けた支援 ・ボランティア活動など、ともに支え合う仕組みづくり	7.3%	6.4%
12	住環境	・空家、空き地対策 ・居住支援や住宅取得など住まいに関する支援	7.0%	6.8%
13	治水	・河川、水路、道路などのインフラ整備 ・排水ポンプ等の整備、改善	7.0%	7.9%
14	公園・緑	・水と緑の空間の整備（湧水・緑地・公園など） ・緑化の推進	6.7%	6.8%
15	スポーツ	・年代などに応じたスポーツ機会の提供 ・スポーツを通じた市民のつながりの形成	6.5%	6.3%
16	水道	・水質管理、老朽管の更新 ・管路の耐震化定した水道事業の経営	6.5%	4.6%
17	障がい者福祉	・障がい福祉サービスなどの日常生活支援 ・共生社会の実現に向けた意識啓発や環境整備	6.2%	7.5%
18	土地利用	・コンパクトで暮らしやすい魅力的な住宅市街地の形成 ・農地の保全や新たな土地利用の検討	6.2%	6.4%
19	市民相談・消費生活	・各種市民相談の実施 ・消費者被害等の抑制	5.6%	6.0%
20	文化芸術・文化財	・文化芸術に親しめる機会の提供 ・文化財の保存、郷土芸能や伝統工芸の継承とその活用	5.2%	4.3%
21	地域コミュニティ	・町会活動、地域まちづくり協議会への支援 ・市民との協働によるまちづくり	5.2%	4.2%
22	環境	・不法投棄対策・公害対策 ・資源の活用、地球温暖化対策、ごみの減量化	4.8%	8.5%
23	生涯学習	・学習機会の提供、学習情報の発信、相談体制の整備 ・生涯学習を通じたコミュニティの充実	4.8%	3.7%
24	農業	・農業基盤・農業環境の整備、農地の適正管理 ・意欲ある農業の担い手の育成・確保	4.3%	2.2%
25	総合行政	・市職員の人材育成 ・健全な財政運営、柔軟で実行力のある行政経営	4.2%	5.3%
26	就労	・労働環境の整備（勤労者福祉の向上など） ・女性、高齢者、若者などの就労促進	3.6%	3.5%
27	下水道	・公共下水道（汚水）の整備（河川の水質保全） ・公共下水道（雨水）の整備	2.9%	1.9%
28	シティプロモーション	・市民の愛着を醸成する市民に向けたプロモーション ・新たな人の流れをつくる市外に向けたプロモーション	2.6%	2.7%
29	多文化共生・国際交流	・外国籍市民への支援 ・国際交流事業等の実施	2.4%	2.4%
30	人権・男女共同参画	・人権意識向上のための意識啓発 ・男女共同参画推進のための意識啓発	0.7%	1.3%

※回答は1人3分野までとしたため、合計は100%を超えます。

【富士見市の魅力ある資源】

市で最も魅力があると思う資源を調査しました。以下の12項目からひとつを選択いただきました。
 (赤字は前回より増加、青字は前回より減少。)

	資源	割合	
		今回調査 (R6年度)	前回調査 (R3年度)
1	首都30キロメートル圏内、電車で池袋まで30分以内という立地的優位性	38.8%	38.5%
2	田園地帯や点在する緑地、湧水などの自然環境	9.5%	10.8%
3	富士山が見える	9.3%	7.6%
4	水子貝塚や難波田城跡などの史跡	8.6%	7.4%
5	菜の花、藤、桜、菖蒲やコスモスなど四季折々の花々が咲くスポット	6.7%	7.5%
6	都市と自然との調和	6.2%	6.0%
7	ふるさと祭りなどのイベント	4.8%	4.3%
8	市民文化会館キラリ☆ふじみを中心に創造・発信される 文化芸術	4.3%	4.0%
9	緑が多く、人々が憩う公園	4.2%	4.6%
10	マスコットキャラクター「ふわっぴー」	1.4%	1.2%
11	地域の飲食店や地域の特産品などの食	1.2%	1.1%
12	お囃子、獅子舞などの伝統芸能	0.6%	0.8%